

テーマ

「食と農の活動を通して地域の絆を深めよう」

目 標

～平城の地でいのちを育もう～・心と体を育てる食育の大切さを伝える

今年度の取組み紹介 【田植え】

地域の方の畑をお借りして、田植え・稲刈り・さつまいも植え・野菜づくり等の支援をしています。初めての田植えは裸足になって田んぼへ入りました。虫がいると言っては黄色い声があちらこちらから泥の感触を足の裏で感じ貴重な体験になりました。植えた苗の生長を見守り、黄色く稔った稲を刈り取りました。地域の方の指導や注意を良く守り、笑顔が耐えない時間でした。



【料理教室】8月には栽培したものや地域の方から頂いた野菜を使った料理教室の開催。子どもたちはカレー・スイカ割り・流しそうめんを楽しみました。「野菜好きじゃなかったのに食べられた」と得意げな顔で話してくれました。平城っ子の畑でとれた野菜はまた格別なのです。



【平城“食と農”ふれあいフェスタ2016】



集大成として、平城にある競輪場で5回目となるフェスタを開催しました。参加者 2700 名（ボランティア 250 名含む）。

途中雨が降ったりしましたが、幼・小・中 慌てず騒がずうまく対応出来ました。これはすべてにつながると思います。平城の各種団体からのお手伝い支援等、多数ご協力いただいています。

地域のみなさまに地域教育協議会の活動や意義を知っていただく良い機会となっています。

今年度のまとめ

ふれあいフェスタの活動を通して学校・園と地域が連携でき、自ら挨拶してくれる子どもが増えてきています。先生との交流もあり、つながりも出来てきています。栽培活動等を通して地域の方と子どもたちとの触れ合う機会が多くなり、良好な関係づくりのひとつとなっています。

協議会の諸活動やフェスタの案内を学校園のホームページへ掲載しました。また活動報告書を作成しました。自治連合会を通して各町へ、活動内容を知ってもらえる活動報告書の回覧を依頼しました。

来年度に向けて

- ・食と農の活動を通して学校・園を支援します。
- ・PTAとの連携を深め学校・家庭・地域が三位一体の活動となるようにします。
- ・地域の高齢者・熟練者・若い人材力の協力体制を強化します。
- ・協議会の活動内容を多くの方に知っていただけるように、広報活動をさらに充実させていきたいです。

テーマ

食と農の活動を通して、地域との絆を深めよう

目標

豊かな心を育み、地域に貢献できる人材の育成に努める

今年度の取組紹介

① 夏のクリーングリーン大作戦

8月27日、平城地区にある平城幼稚園、平城小学校、西大寺北小学校、奈良大学附属高校、平城中学校の児童、生徒、保護者、地域の方々と合同でごみ拾いや草刈りなどの清掃活動を行いました。

清掃活動後は、本校PTA役員の方に作ってもらった「かき氷」を、みんなでいただきました。



② 平城“食と農”ふれあいフェスタ 2016

11月8日、奈良競輪場をお借りして「食と農ふれあいフェスタ」を開催しました。会場では、みたらし団子や焼きそばなどの模擬店を出店し、ホールでは平城幼稚園、平城小学校、西大寺北小学校、平城中学校の2年生や吹奏楽部が歌や演奏などの学習発表を行いました。そのなかで、中学生はカレーの炊出しや模擬店の手伝いなどで地域の方々と交流を深めました。今年の参加者は2700人でした。



今年度のまとめ

◎コーディネーターを中心に地域内の各種団体が連携できました。

◎「平城“食と農”ふれあいフェスタ 2016」は昨年と同様に参加者が2700人でした。生徒達は地域の方や幼稚園児、小学生との交流を深めることができました。

◎耕地、栽培、収穫、調理という過程を通して生徒達に食べ物の大切さ、自然や人を愛する豊かな感性を育むことができました。また、責任感や規範意識を養うなどの取り組みの成果が見られました。

◎地域、家庭、学校が連携した諸活動を通じて、地域に対する愛着を持たせることができました。

来年度に向けて

◎来年度も今年度の「平城“食と農”ふれあいフェスタ」などの取り組みを継続していきたいです。

◎コーディネーターの負担が軽減できるよう地域全体の協力体制を確立します。

◎フェスタの案内を学校のホームページに掲載するなど、昨年よりも幅広く広報活動を行いました。が、より多くの地域の方に参加していただくために、より一層の広報活動を行いたいです。

◎PTAとの連携を強化します。

テーマ

「食と農の活動を通して地域との絆を深めよう」

目標

地域・家庭・学校が、栽培・生産・命を育む取組を中心に、協力し学んでいく。

今年度の取組紹介

◆米作り体験

5年生が、学校の南に隣接した田圃を地域の方からお借りして田植え・稲刈り体験を行いました。今年で7年目になります。田植えや稲刈りには、地域の方々や農協の方々が多数応援に駆け付けてくださいました。収穫したお米は、今年も食糧不足に苦しむマリ共和国に支援米として送りました。また、体育館で収穫祭を行い、地域の方を招いて、おむすびを一緒に味わいました。



◆平城“食と農”ふれあいフェスタ2016

今年で6回目を迎える「ふれあいフェスタ」を11月8日、奈良競輪場において地域の方々約2700名の参加者を得て、盛大に行うことができました。中学校や地域のバザー、炊き出し、大道芸人によるパフォーマンス、保護者の人形劇、そして、学習発表・学習展示と充実した時間となりました。地域・家庭・学校が三位一体となり、地域の絆をより深めることができました。子どもたちも幼・小・中の交流を深めることができました。



今年度のまとめ

地域の方々との協働による様々な栽培体験活動で、達成感や成就感を味わい、また、顔を合わす機会も増え、自然に挨拶を交わし話すことも増え、コミュニケーション力の育成につながっています。

家庭科学習の支援、低学年の生活科への支援、クラブ活動の支援、環境整備への支援など、様々な面で地域の方々のお世話になり、教育活動を進める上でもなくてはならない存在でした。

朝の会や昼休みに、読書ボランティアの方がクラスや多目的室で、読み聞かせを行ってくださったことで、児童の読書への関心も高まり、国語科のアンケートにも「読書が好きだ。」と答える児童が9割に達しています。朝読書の浸透で落ち着いた学校生活を送ることができるようになってきています。

来年度に向けて

各学年の発達段階をふまえた体験学習を整理し、児童の成長により効果的な栽培体験学習を年度当初に計画し、地域の協力を得て実行していきたいです。教職員と地域の方々とのつながりをより深めるためにも、顔合わせや意見交換の場を設定し、密接な関係づくりを図っていきたいです。ふれあいフェスタやクリーン活動などを通して、小中一貫教育の立場から子どもや教師の交流を深めていきたいです。

テーマ

食と農を通して、地域の絆を深めよう

目 標

- ・地域の人々の教育力を活かし、共に様々な体験を行うことで、地域の方々に親しみを感じる。
- ・栽培活動を通して、自然や人に感謝の気持ちをもつ。
- ・食への関心を高め、よく食べよく遊び、健康な体づくりにつなげる。

今年度の取組紹介

【お話の会】

のはらうたさんや奈良おはなしの会さんから、絵本や素話、パネルシアターを視聴したり、手遊びを楽しんだりしています。事前に貼り出すプログラムを親子で見て「知ってるお話や」「楽しみ」と毎月心待ちにしています。毎回工夫された内容で、園児もドキドキワクワクお話の世界へ引き込まれ、終わった後は「ありがとう」「次も来てね」と親しみや感謝の気持ちを伝える様子も見られます。毎月積み重ねることで、園児の豊かな気持ちが地域の方の力で育まれています。



【やきいもパーティー】



5月、地域の方の指導のもと親子でサツマイモを植え、11月には収穫したサツマイモを使ってやきいもパーティーをしました。当日は、火をおこすところから見せてもらい、パチパチと枝や葉が燃えたり、モクモクと煙が上がったりする様子を見て、感動する幼児の姿が見られました。地域の方々と食べたやきいもの味は格別でした。この活動を通して、味や匂い・音など、五感を通して様々なことを学ぶことができました。また「この枝、燃えるかな?」「いっぱい集めないとやきいもできないね」とみんなで準備をしたことで、満足感や達成感も感じることができ、家庭ではできない貴重な体験となりました。

【平城“食と農”ふれあいフェスタ2016】

平城“食と農”ふれあいフェスタ2016が、地域にある奈良競輪場で行われました。舞台では、食に関係した歌や踊りに大きな拍手をもらい園児の自信につながりました。参観でおいさん・おばあさんと一緒に描いた食べ物の絵も掲示し、みんなに見てもらいました。昼食には、地域の方々が炊いてくださった愛情たっぷりのカレーもいただきました。小・中学生や保護者、たくさんの地域の方々と関わる中で、親しみや感謝の気持ちをもったり、平城の地域の良さを感じたりする機会となりました。



今年度のまとめ

- ・地域の方々の力をお借りして行う活動を積み重ねることで、園児の豊かな心を育むきっかけや素地となっています。
- ・園児が、受け身でなく準備から関わることで、地域の方々へ親しみや感謝の気持ちをもつとともに、自分たちもやった・できたという充実感を得られることができました。また、保護者も一緒に行うことで、事業への理解や地域の方々とコミュニケーションを深めることにもつながりました。

来年度に向けて

園児や保護者においては、地域の方々への親しみや感謝の気持ちが高まってきています。来年度も、更に広い視点で地域力を活かし、絆を大切にしながら、健康で心豊かな園児を目指して取り組んでいきたいです。また、平成30年度に（仮）平城こども園に移行することも踏まえながら、継続して事業がつけられるように見直し、工夫していきたいと考えます。